

- 幅をコンパクトに抑えた、断面がS形状のリニアスライドレール。
- ストローク量は全閉時の長さ(L寸法)以上。
- レールの転走面は高周波焼入れ済み。低摩擦なボールベアリングと組み合わせることにより、高い定格荷重性能・静粛性能・耐摩耗性能を実現。高寿命です。
- 専用グリースの塗布により、恒久的に滑らかな操作が可能です。
- 本商品は1本での販売となります。

● 材質・仕上げ



TSK

レール	スチール
ランナー	三価クロメート処理
ストップ	転走面硬化処理
ボールベアリング	スチール 焼入れ
ボールケージ	スチール 亜鉛メッキ
中間プロファイル	スチール 亜鉛メッキ
ゴムストップ	NBR

● 用途

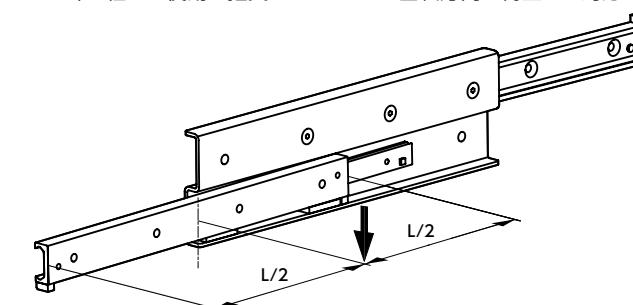
引き出し・スライドドア・キャビネット
各種産業設備・車両設備・家具など

品番	h	L	L1	H	W	W1	t1	A	d	定格荷重(N)*1	質量(g)
										定格荷重(N)*1	
TSK-28-290	28	290	296	80	17	12.3	4	35	5.5	587	1900
TSK-28-370	28	370	380	80	17	12.3	4	35	5.5	793	2390
TSK-28-450	28	450	464	80	17	12.3	4	35	5.5	999	2930
TSK-28-530	28	530	548	80	17	12.3	4	35	5.5	1205	3250
TSK-28-610	28	610	630	80	17	12.3	4	35	5.5	1510	3970
TSK-35-450	35	450	494	97	22.5	16.5	3.5	43	6.5	1265	4000
TSK-35-530	35	530	558	97	22.5	16.5	3.5	43	6.5	1700	4000
TSK-35-690	35	690	734	97	22.5	16.5	3.5	43	6.5	2150	5990
TSK-35-850	35	850	886	97	22.5	16.5	3.5	43	6.5	2830	7450
TSK-43-530	43	530	556	117	28	21	4.5	52	8.5	2140	7740
TSK-43-690	43	690	726	117	28	21	4.5	52	8.5	2885	10070
TSK-43-850	43	850	866	117	28	21	4.5	52	8.5	4010	12410
TSK-43-1010	43	1010	1036	117	28	21	4.5	52	8.5	4755	14750
TSK-43-1490	43	1490	1516	117	28	21	4.5	52	8.5	3820	21750

*1: 1本あたりの定格荷重です。取り付け穴をすべて使用した場合の参考値です。固定箇所を減らした場合定格荷重が減少します。

● 定格荷重

定格荷重は、レールが全開位置までスライドした状態で、その中央部に垂直・下向きに作用します。
2本1組での使用を推奨しているため、回転方向の荷重には対応していません。



⚠ 使用上の注意

- 故障・破損の原因になるため、最大スライド速度0.8m/sを超える速度での使用は避けてください。
- ご使用前には技術資料の取り付け上の注意、使用上の注意をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。



● 品番指定 ※価格・納期はNBKウェブサイトをご覧ください。

TSK-28-290

1

取りつけ上の注意

● 取りつけ穴・取りつけねじ

取りつけの際は強度区分10.9の六角穴付き皿ねじをご使用ください。

リニアスライドレールの取りつけ穴はすべて使用してください。スライドの干渉などで使用できない取りつけ穴がある場合、その穴以外をすべて使用してください。

TSJ、**TSL**、**TSM**はストップを取りはずすことでレールもしくはランナーを移動させ、すべての取りつけ穴を使用することができます。その後ストップを再度取りつけてください。

TSI、**TSJ**、**TSL-GG**、**TSL-DG**のランナーにねじを取りつける際は、レールとの干渉を防ぐためねじ先端がランナーから飛び出さないようにしてください。

使用上の注意

● 定格荷重

各リニアスライドレールの定格荷重は1本あたりの値であり、適切な安全率を考慮して設計してください。

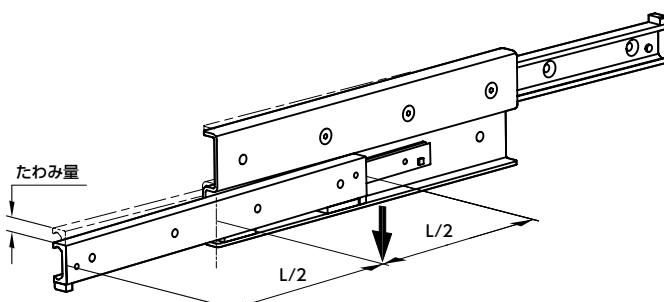
定格荷重は、リニアスライドレールを全開位置までスライドさせた状態で、レールまたはランナーの中心部に垂直下向きに作用する力を指します。

定格荷重は参考値であり、保証値ではありません。また使用環境や経年劣化によって定格荷重は変化します。

事前に実際と同じ使用条件で動作確認を行ってください。

● たわみ量

リニアスライドレールは全開位置で荷重が加わると定格荷重範囲内でもわずかなたわみを生じますが、機能に影響はありません。



● 移動速度

リニアスライドレールの最高移動速度は0.8m/sです。

● ボールクリープ

リニアスライドレールは急な開閉の切り替えや急加速が加わると、特にボールケージ全長が長いものでボールクリープが発生しやすくなります。

ボールクリープが発生した場合、ボールケージは中間スライドやインナースライドの半分の速度で同期して動くことができず、本来位置する場所から離れる可能性があります。

また、移動量が通常より少なくなる可能性があります。

ボールケージを本来の位置に戻すためには、リニアスライドレールを全開位置と全閉位置に動かしてください。